

地域計画の策定に向けた取組事例

農業委員会を中心とした地域の代表の活躍で地域活動の活性化を図る

宮崎県宮崎市

認定農業者数

1, 377経営体

農地面積

8, 140ha

主な農畜産物

きゅうり、マンゴー、肉用牛、
コショウラン etc

地域の課題

本市の農業は、冬季に温暖で日照時間の長い気候条件を活かして、古くから野菜や果樹、花きの施設園芸を基幹とし、早期水稻と畜産を組み合わせた農業経営を軸に発展してきた。しかし、農業従事者の高齢化や地域農業の担い手不足に伴い、農地や水路等の農業用施設が適切に管理できないなど、人と農地の問題への対応が急務となっている。



取組概要

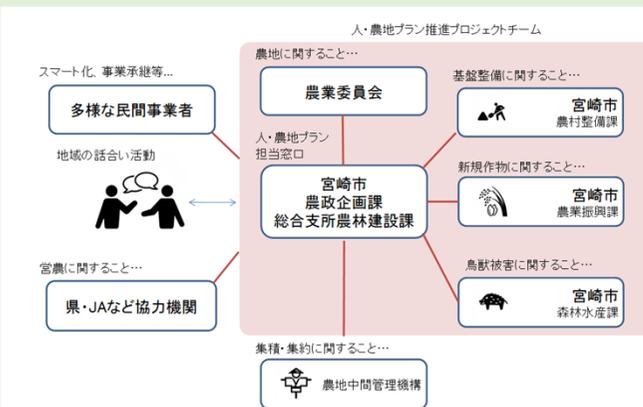
課題解決のため、地域における話し合い活動を促し、中核的農家への農地の集積や土地利用型作物の生産性の向上を図る。
 《キーパーソン》
 地域の代表でもある
 農業委員
 農地利用最適化推進委員
 土地改良区役員などが
 ⇒アンケート調査表の配布や回収
 ⇒座談会の日程調整や司会進行を自ら務めることで、地域で取り組むべき活動であるといった機運醸成が図られた。



活発な意見交換が行われた座談会

人・農地プランのフォローアップ体制

地域の話合い活動で得られた意見や方針を具体化する事を目的として、関係機関で構成される「推進プロジェクトチーム」を設置。



「推進プロジェクトチーム」を設置。
 《対応事例》
 ・多面的機能支払交付金事業への参画
 ・水路などの農業用施設の補修・改修
 ・有害鳥獣対策 等

「地域計画」策定に係る今後の取り組み

- 1 人・農地プランの進捗状況
108地区中、98地区で実質化済み。残りの地区も取り組みを継続
- 2 関係機関との連携
農業委員会との連携は必須。広報活動や研修会を計画的に実施
- 3 地域計画の策定
人・農地プラン同様、関係機関との連携により事業を推進
- 4 人・農地プラン(地域計画)の検証
実質化済みのプランを年1回、計画的に検証
- 5 人・農地プラン(地域計画)のフォローアップ
地域の意見を具体的な結果に繋げることで、話し合いへの積極的な参加を促す